

平成26年産畑作物共済（大豆）支払実績

平成26年産畑作物共済（大豆）の損害評価高がまとまり、支払対象農家105戸に対して、共済金3,067万円が支払われた。

被害状況は、被害面積割合で見ると、風水害が約77.4%、土壌湿潤害が約22.5%、虫害が約0.1%となった。

《主な災害と被害状況》

風水害

8月上旬、前線及び台風11号の接近に伴う大雨で河川・水路が氾濫した。これにより圃場への土砂流入や大豆の流出がみられた。また、圃場の冠水や浸水により大豆が生育不良となり減収となった。

土壌湿潤害

8月上旬から9月上旬の降雨により土壌の湿潤状態が続き大豆が生育不良となり減収となった。

虫害

9月中旬以降マメシクイガによる子実の食害が発生した。



組合名	支払対象		被害率	
	戸数 (戸)	共済金 (円)	戸数 (%)	金額 (%)
津軽広域	66	26,401,323	48.5	6.5
ひろさき広域	14	3,134,586	63.6	3.7
南部地域	25	1,138,518	15.8	2.1
合計	105	30,674,427	33.2	5.6